



岩国市立そお小学校

令和7年度

11月号



そお小
ホームページ
トップ
はこちら

そお小だより

【学校教育目標】 ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成（周東中学校区共通）

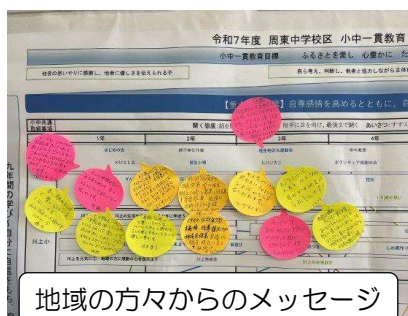
やまぐちPRIDE※₁・そおPRIDE※₂の醸成

本校は、子供たちが地域の宝に触れながら、未来への夢や志を抱いて成長できるように、キャリア教育を軸とした「学校・地域連携カリキュラム」を編成した教育活動を展開しています。

「ようこそ先輩 in そお小」や「祖生小唄」等、地域の先生をお呼びしての学習をはじめ、「丸つけ先生」や「おはなし会」等地域の学習ボランティアの姿に触れる学習、「地域との合同運動会」「三世代ふれあいフェスタ」のような交流行事、「いちご農園や祖生民俗資料館、田植えや泥遊び」のような地域に出かけての学習等がそれに当たります。

「木綿のハンカチーフ」や「ルビーの指輪」等で有名な作詞家の松本隆さんは、「ネット環境がいくら充実しても、現地に行って経験しなければ書けないことがある」「文化、歴史、その場所が背負っているものは目には見えないし、写真やデータには残らないけれど、その場に行くと感じるものがある」「目には見えない記憶が僕たちの中に堆積していく」とおっしゃっています。子供たちにとっての祖生地区での様々な体験的な学びは、まさにその言葉に集約されており、子供たちの根っこの部分として日々堆積していると思っています。

2学期からは、周東地区全小中学校で「学校・地域連携カリキュラム」に保護者や地域の方々の思いや願いをのせ、子供たちに触れさせたいという共通の取組を行っています。本校では、学校に来られた学習ボランティアの方々に、吹き出し型の付箋等で思いや願いを書き綴っていただいたものを、拡大印刷したカリキュラム表に貼り付け、集めている状況です(左写真)。現時点ではまだ各校模索段階ですが、祖生地区の熱い志をもった地域の方々の、ふるさと祖生の未来を作る心意気が子供たちに伝播し、「そおPRIDE」が醸成されていくことを願っています。



地域の方々からのメッセージ

※1 山口県の急激な人口減少、人口流出の現状を鑑み、「地域の担い手」の育成が急務となっている昨今において、今年度から山口県教育委員会が打ち出した、キャリア教育推進のためのキャッチフレーズ「やまぐちPRIDE」とは、「ふるさとの自然や人、伝統文化を大切にする気持ち、ふるさとや住んでいる地域のコミュニティづくりなどに主体的に参画しようとする心意気、つまり、ふるさと山口の未来を創る心意気のこと」と定義されている。

※2 「そおPRIDE」とは、その祖生地域版で、ふるさと祖生を愛する気持ちや誇りに思う気持ちをベースに捉える。

コミュニティ・スクールコラム

去る10月10日(金)に、1・2年生が「祖生ぜんざいサロン」にお邪魔し、地域の方々との交流を行いました。チラシには「〈今月のゲスト〉そお小学校の生徒さん来訪」と記され、とても温かく迎え入れていただきました。また、会場では、おいしいぜんざいやゼリーなどをごちそうになりました。子供たちは学校で音楽の時間に学習していた「ドレミの歌」を振り付きで披露したり、地域の方々と一緒に「おちゃらかホイ」をしたりと、感謝の気持ちを込め、楽しい時間を一緒に過ごさせていただきました。

進行された毛利治郎さんからは、「じゃんけん」の歌を披露していただきました。歌詞が、じゃんけんの問答のようになっていて、子供たちにとっても、脳トレのような楽しい刺激となりました。地域の方々とのこうした楽しいかわり合いの中で、子供たちは自己肯定感や有用感を身に付けていくのだらうと実感しました。



♪グーより強いのは？

♪パー！